

新潟ジュニアドクター育成塾

R4.9.18 No.6

自然と人講座「漢方薬の科学」

新潟薬科大学
杉原 多公通 先生



新潟薬科大学を会場に「漢方薬の科学」をテーマに講座を実施しました。新潟薬科大学の杉原多公通先生には薬の歴史に関する講座を、加えて浅田真一先生、本澤忍先生、城田起郎先生とともに「生薬作り」の実習を実施していただきました。

杉原先生の講義では、薬の文字の意味から歴史との関わり、また生薬は処理の違いにより効能に差が出るとの説明がありました。実習内容はこの点を踏まえたものとなっており、受講生が持参した野菜、果物を3つの前処理方法と3つの乾燥方法で加工プロセスの前後でどのような変化がみられるかを「外観・匂い・味」の3点について観察しました。本格的な乾燥作業は午後に行いましたが時間が足りなく、実習時間一杯まで熱心に取り組む様子が見受けられました。実験中には、講師の先生方から繰り返し「実験ノートに記録する」ことの重要性についての指摘がありました。全般を通して、実験科学の経験面でも有意義な講座となりました。



自然と人講座「風の科学」

新潟工科大学
富永 禎秀 先生



新潟工科大学を会場に「風の科学」をテーマに講座を実施しました。講師は、富永禎秀（新潟工科大学教授、風・流体工学研究センター長）です。

風がなぜ吹くのかを事前に調べて講座に臨んだ受講生は、風の吹く原因や特徴、風の調べ方、風とコロナウイルスの関係、窓の開け方による空気の流れの違いなどについて、深く学ぶことができました。

日本海側では最大級の風洞実験装置に入り、風速10m/秒ほどの風を体感しました。受講生は、体全体で風を受け止め、風圧の大きさを体感し大喜びでした。また、空気の流れが視覚化できる実験装置で窓の位置によって空気の流れがどう違うかを科学的に捉えることができることに関心を示していました。

当日は、新潟工科大学の周年事業のイベントも開催されていて、空いた時間を使ってスタンプラリーに参加する受講生もいました。



※この取組は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「ジュニアドクター育成塾」事業（2019年度～2023年度）に採択されています。